



ハイライトよねやま 123

1 寄付金速報 — やや回復するも厳しい状況 —

4月までの寄付金は、前年同期と比べて12.2%減、約1億6千万円の減少となりました。普通寄付金が2.5%減、特別寄付金が16.6%減で、依然として厳しい状況が続いています。ただ、今月は、個人・法人・クラブからそれぞれ100万円の大口寄付を6件いただき、前年同月との単月比較では約1千万円増となっています。

高額寄付をしてくださった皆さま

～ご支援に感謝申し上げます～

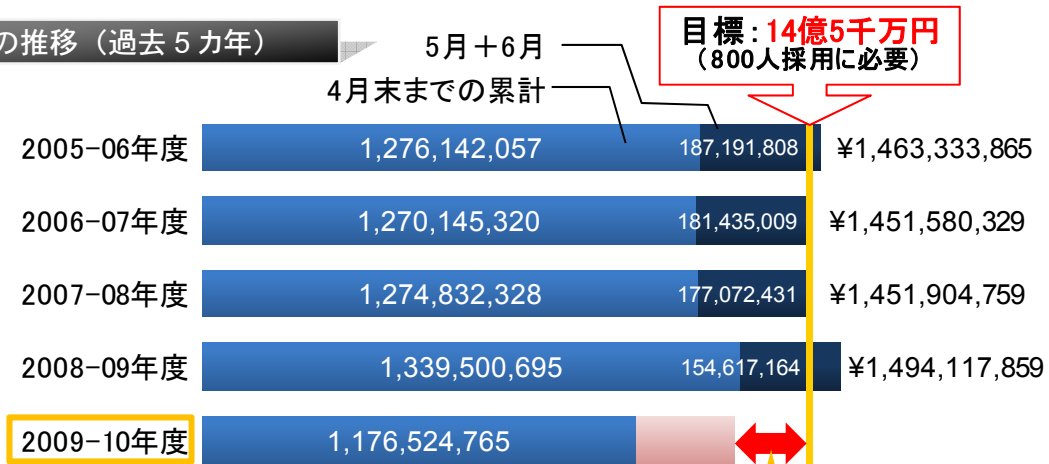
個人寄付 藤井秀久氏（高崎北RC） 郡 愛子氏（東京小石川RC物故会員のご親族）

法人寄付 妙高企業株式会社（横浜鶴見北RC 藤林豊明氏）

福山瓦斯株式会社（福山RC 松本茂太郎氏） 他、匿名希望1件

クラブ創立記念寄付 東京江北RC

寄付金の推移（過去5カ年）



普通寄付金をお願い

4月末現在、普通寄付金の下期分をまだ納めていないクラブが**67**クラブあります（前年度45クラブ）。今年度も残り1カ月半ですので、地区関係者の皆様のご協力をお願い申し上げます。

2 中国・台湾の学友からの寄付



姫 軍さん

4月には、中国と台湾の学友から多額の寄付をいただきました。現在、弁護士として中国で活躍し、中国米山学友会の初代会長を務める姫 軍さん（1995-97 / 東京臨海RC）は、「米山奨学会から受けた恩を次の世代に返したい」と、2007年から毎年50万円を米山奨学会に寄付。今回で累計216万円に達し、第21回米山功労者メジャードナーとなりました。これは、学友の寄付金累計としては過去最高額となります。姫軍さんは、第2750地区のホームカミング招聘を受け、今月下旬に来日し、5月30日の東京米山友愛RCの認証状伝達式で記念講演をする予定です。



阮允恭さん

また、台湾学友会の前会長である阮允恭さん（1971-74 / 神戸RC）も、4月に世話クラブの神戸RCを訪問した際に、クラブを通じて10万円を寄付してくれました。

これまでに学友から寄せられた寄付金の累計額は、4月末現在で1,417万円にのびます。

3

コラムコンテストで学友の晏英さんが最優秀賞受賞！

Global Voices from Japan (GVJ) 「外国人の見る日本」コラムコンテストが開催され、米山学友の晏英さん（中国／2006-07／市川大門RC）の応募作品『祖母の逝去』が最優秀賞に輝きました。このコラムコンテストは、留学や仕事で日本に関係・関心を持つ外国人を対象に募集されたもので、453点の応募作品の中から、最優秀賞1点と優秀賞3点、その他各賞6点が選ばれました。今回の受賞について、晏さんは「望外の喜びであり、光栄の極みです。このコラムは、私の7年間の日本に対する愛情の蓄積と、その年月遠く離れたところから祖母を想うことしかできなかった複雑な感情を、濃縮させて素直に表現したものです。私はこの国が大好きで、第2の故郷だと思っております。皆様と共に、中日友好、国際交流に対する意識を高め、ますます力を尽くしていく決意を新たにしたいと思います」とコメントを寄せてくれました。5月13日に国際文化会館（東京都港区）で開かれた授賞式で、晏さんには、GVJ評議員会議長の明石康氏よりトロフィーが授与されました。なお、今回のコンテストの受賞作品は、GVJホームページ(<http://glovoicesjp.com/>)に掲載されています。



明石氏から授与されたトロフィーを手にする晏さん(左)

4

台北東海RCが創立15周年

米山学友を中心に設立された最初のクラブ、台北東海RCの創立15周年記念式典が4月10日、台北市内のホテルで盛大に開催されました。同クラブは、台湾で日本語を公用語とする珍しいクラブであり、交流のある日本の10クラブからも130人が出席しました。創立会長の徐重仁さん（1976-77／平塚RC）は、この15年を振り返り、「歴代会長のリーダーシップの下、クラブ運営、国際交流、社会貢献に多くの成果を残し、日台文化交流の懸け橋として積極的に活動してきました。



順調な発展を続けることができたのも、台湾・日本ロータリーの諸先輩方のおかげです。今後も私たちは努力を続け、社会とロータリーへの貢献に尽力してまいります」と語っています。

5

米山学友が福島グローバルRCの創立会員に

第2530地区（福島県）に設立された新世代中心のロータリークラブ（RC）、「福島グローバルRC」の国際ロータリー加盟認証状伝達式が4月25日に開催されました。同クラブは財団学友やGSE、米山学友が発起人となって設立されたもので、創立会員22人のなかに米山学友が2人含まれています。

発起人の一人で、クラブ国際奉仕委員長に任命されたチンタカ・クマーラ・ウィジェシンへさん（スリランカ／1997-98／郡山安積RC）は、「米山奨学生になって以来、世話クラブのご協力を得て、母国のためにさまざまな奉仕活動を行うことができた。今度は私が、お世話になった当地区で地域社会に貢献し、スリランカと福島を結ぶ更なる懸け橋になりたい」と、決意を語りました。また、もう一人の創立会員、池慧詩さん（マレーシア／2005-07／帯広東RC）は、「ロータリーにお世話になった恩返しの気持ちで、皆さまと一緒に社会奉仕を実践していきたい」と話しました。



チンタカさん